



INTERVIEW

## 福島で、実現する。

あなたが実現したいことは、なんですか？

### 先輩職員インタビュー



心理

「心に寄り添い、前に進む助けになりたい」

所属 県中児童相談所 相談判定課

● これまでの経歴(所属年度)

H28~H30 浜児童相談所 相談判定課

H31~ 県中児童相談所 相談判定課

Q. 現在の仕事内容とそのやりがいについて教えてください。

A. 児童相談所は、18歳未満の子どもに関する様々な相談に対応する機関です。その中で私は、主に子どもと面接し、子どもと、その子に関わる大人が安心して生活できるよう、相談援助業務を行っています。また、児童虐待が疑われる相談では、子どもと会って状況を確認する等、子どもの安全を守るための業務にも携わります。

児童相談所で関わる児童や家庭の悩みは多岐にわたり、解決が困難なことも多くありますが、少しでも良い方へ向かうことを目指しています。一緒に考える中で、子どもや家族の方々の笑顔や明るい様子が見られた時は、自分のことのように嬉しく、やりがいを感じます。

Q. 福島県職員として、実現したいこと、目標としていることは何ですか。

A. 相談に来られた子どもや家族に、少しでも「来てよかった」と思ってもらえるような対応を目指しています。様々な事情や課題を抱えていても、全ての子どもが安心安全に、幸せに暮らせることを目標に、子どもたちが困った時、頼りたいと思える相談機関でありたいです。



↑子どもの話を聞きながら、適切な支援を考えます。



Q. 仕事をする上で心がけていることは何ですか。

A. 望んで相談に来た訳ではない子どもや家族は多く、相談の中で辛い話題を扱うこともあります。できるだけ負担を小さく、かつ有意義で納得できる話し合いができるよう、話し方や雰囲気、言葉の選び方には気を付けています。

Q. あなたをキーワードで伝えるとしたら、どんな言葉が思い浮かびますか。

A. 「言語化」「チーム対応」「いろいろな視点」「一緒に取り組む」「地元の人に近づく」

Q. 「言語化」について教えてください。

A. 相談を通し、目に見えない心を言語化することで、適切に感情を表現したり、気持ちを子ども本人や周囲の大人と共有することを大切にしています。相手の心とズレなく適切な言葉で表現できるよう、自分の語彙を増やすことも意識しています。

Q. 「地元の人に近づく」について教えてください。

A. 私たちが関わる相談は、日常生活の中で起きていることですが、暮らす地域により困ること、配慮すること等は異なります。地域性や支援資源をよく把握し、同じ感覚を持って話し、適切な助言ができるよう心掛けています。



↑箱庭療法



↑遊戯療法